

## Avaya Aura<sup>®</sup>

企業を成功に導くコミュニケーションプラットフォーム

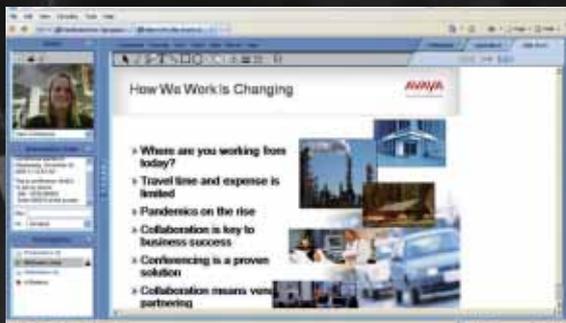


# Avaya コラボレーションプラットフォーム

## Web会議ソリューション

Web会議、音声会議、ビデオ会議をサポート

## Avaya Aura® Conferencing



## ビジネスアプリケーションにリアルタイムコミュニケーション機能を容易に統合するソフトウェア

- SOAアーキテクチャとWebサービスをベースにしたソリューション
  - 柔軟、俊敏な開発、運用が可能
  - スケーラビリティを提供
- コミュニケーションサービスのAPIによりCTIやSIP知識が不要
  - ビジネスアプリケーションの知識のみで開発可能
- マルチプラットフォーム環境で動作
  - 他ベンダと連携
  - 既存テレフォニー資産を利用可能

## Avaya ACE™ パッケージアプリケーション

### MOC & Sametime Integration

#### fastIntegrate

複数ベンダのPBX電話機をMOC、Lync & Lotusと連携

### Mobile Cost Optimizer

#### fastSave

BlackBerry®を企業のコミュニケーション環境に統合

### Event Response Manager

#### fastConference

イベント発生時に自動的にメンバー間でカンファレンスコール

### Office & Browser Add-Ins

#### fastCall

MS-Office、ポータル、ブラウザからClick-to-call

### Hot Desking

#### fastOffice

電話機およびビデオデバイスを管理するための、

Webユーザーインターフェースを提供

## IPテレフォニーソリューション

## Avaya Aura® Communication Manager



ビデオ会議ソリューション

Avaya Video Collaboration Solution

Avaya Desktop Video Device



1000 Series Video Conferencing System



ビデオ会議

プレゼンス・インスタントメッセージング

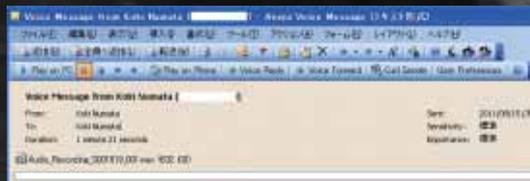
Avaya Aura® Presence Services



メッセージングソリューション

Avaya Aura® Messaging

- エンドユーザーが、Web ブラウザから色々な条件（メッセージ受信時の通知条件等）を簡単に変更可能
- Avaya one-X Mobile, Avaya one-X Communicator 等と連携し、ビジュアルボイスメール機能を提供
- FAX メッセージを E メールで受信
- ストレージサーバとして、Avaya 製品以外に他社製（Microsoft Exchange 2007/2010, Zimbra 6/7 など）も使用可能
- IMAP4 または POP3 メールクライアントとのインテグレーションが可能



# Avaya Flare® Experience

## 👉 指先で触れるだけでビジネスコミュニケーション

ビデオ、音声、インスタントメッセージング、メール、SNSなどを統合した直感的なユーザーインターフェース



### 🔴 直感的に容易な操作が可能

Avaya Flare® Experienceは、会議室と会議室を専用回線で接続する必要はありません。社内LANに接続するだけで、高品質なHD画像でのビデオ会議を実現します。ビデオ会議接続時に複雑な設定はいりません。内線電話を掛ける要領でビデオ会議を開始できます。

### 🔴 コンタクト情報を一元管理

従来のユニファイド・コミュニケーション・ソリューションは、メーラーや電話などの端末別にアドレス帳を管理する必要がありました。Avaya Flare® Experienceでは、企業ディレクトリや個人の連絡先など複数のツールのコンタクト情報を一元的に管理することが可能です。

### 🔴 最適なコミュニケーション手段を選択

コンタクト情報は、回転式のアドレス帳をめくるように閲覧、検索が可能です。相手のプレゼンスを視覚的に確認し、相手が連絡可能なコミュニケーション手段を選択できます。

### 🔴 コンタクトする相手との過去のやりとりを即座に把握

通話履歴やインスタントメッセージングでのやりとりなどのコンテキスト情報がコンタクトする人ごとに表示されるため、過去のやりとりを即座に把握することができます。

## Avaya Flare® Experience 利用シナリオ

### 統合コミュニケーション端末として

- 電話、メール、インターネットメッセージング、Web、ソーシャルメディア等をひとつのプラットフォームで利用できます。

### エグゼクティブ向けの専用ビデオ端末として

- エグゼクティブのデスクの上に設置。いつでもビデオ会議を開始できます。

### いつでもどこでもビデオ会議が可能

- 持ち運び可能なため、ビデオ会議室を別途用意する必要はありません。

### BCP、災害復旧用のバックアップシステムとして

- IPネットワークがあればどこにでも迅速にバックアップシステムとして構築することができます。既存システムから独立したシステムとして導入できるほか、必要に応じて既存システムとの連携も可能です。

### フィールドセールス/サポート用端末として

- 営業マンが客先で専門的な説明をする際、本社スタッフがビデオ会議で参加できます。
- トラブルサイトで現状をビデオで説明し、本社スタッフが解決方法を資料を使って提案できます。

### 顧客対応キオスクとして

- タッチスクリーン式のコミュニケーション・ステーションとして、店舗や会議室に設置し、コンタクトセンターのオペレータが資料を使って説明することで、顧客サービスの向上を支援します。

## あらゆるデバイスで一貫したユーザーインターフェースを提供

Avaya Flare® Experience は、順次 iPad、Windows OS、Mac OS、iPhone および Android 端末で動作するバージョンもリリース予定です。新たなコラボレーションの基盤として、Avaya Flare® Experience での直感的な操作がマルチデバイス上で可能になります。(2012 年以降順次リリース予定)

HD対応コラボレーション端末  
Avaya Desktop Video Device

Windows版



iPad版



Document Sharing

Messaging

Conferencing

AVAYA  
aura

# Avaya one-X® クライアント・アプリケーション

- オフィスの電話の発着信履歴を確認(統合コールログ)
- ボイスメールを一覧表示、任意の順に確認(ビジュアルボイスメール)
- 相手の状態を確認する機能を実装(プレゼンス)

## モバイルアプリケーション

外出先からも内線通話、  
オフィス電話番号での発着信が可能

- 社内外を問わず、常にワンナンバーでアクセスできるとともにビジネス・テレフォニー機能をモバイルワーカーに提供
- プレゼンス、企業ディレクトリ検索などのUC機能と連携
- 通信事業者が提供するFMC料金プランとの組み合わせにより、真のトータルコスト削減が可能

### Avaya one-X® Mobile for iPhone



24×7 統合コールログ

ビジュアル  
ボイスメール

プレゼンス表示

### Avaya one-X® Mobile for Android



24×7 統合コールログ

ビジュアル  
ボイスメール

プレゼンス表示

### Avaya one-X® Mobile for BlackBerry



24×7 統合コールログ

プレゼンス表示

ビジュアルボイスメール

## ソフトフォンアプリケーション

自宅・外出先でも社内と同じように電話、ビデオ会議、  
ボイスメール、インスタントメッセージングなど  
様々な機能を提供

### Avaya one-X® Communicator



ビデオ会議

Home画面



プレゼンス表示



Click to call

ビジュアルボイスメール



電話会議

### Avaya one-X® Portal



アプリケーションインストール不要な  
Webブラウザ型ソフトフォン

# Avaya one-X®クライアント利用シーン

## 業務効率を向上するコミュニケーション環境

社員のコミュニケーションを円滑にし、一人一人、またはグループのワークスタイルに合わせたコミュニケーション環境を提供します。

- 自宅でも会社と変わらない電話環境で在宅勤務が可能
  - 自宅電話機や個人携帯でも、ソフトフォンを使って会社の内線として通話が可能
- 外出先でも内線番号だけで発着信可能な環境
  - 外出の多い営業などでも、携帯電話を会社の内線として通話が可能
- オフィスで会議中でも容易にコミュニケーション可能な環境
  - 会議などで席にいない場合でも、IM(インスタントメッセージング)を使用しコミュニケーションが可能
  - 指定した相手からの着信のみ、携帯で受信(VIP スクリーニング)

### オフィス・自宅・外出先での事例



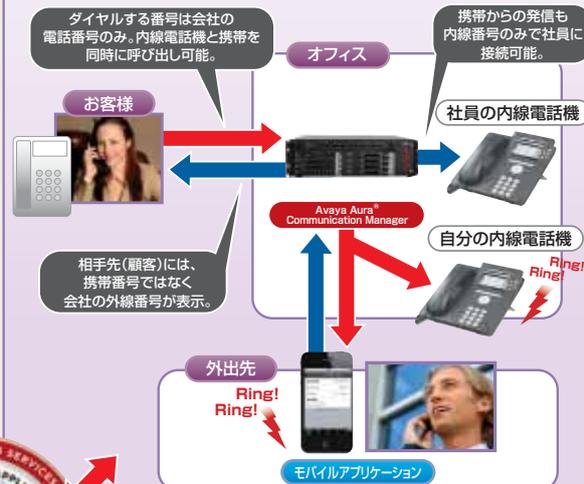
#### 自宅では…

- 通話で使用したい電話機(携帯、自宅電話機など)を設定可能
- ソフトフォンから相手先電話番号入力など制御を行い、公衆電話網を使用した通話が可能



#### 外出先では…

- 携帯電話をAvaya Aura® Communication Managerの内線として利用可能
- ビジネス電話は、携帯各社のFMCサービスを利用し、コスト削減が可能



#### オフィスでは…

- 重要顧客、大事なコールだけを着信させることが可能
- 打ち合わせ中でも情報収集や社員とのコミュニケーションが可能

ソフトフォンアプリケーション



# >> Avaya Aura®

Avaya Aura®は、企業内のマルチベンダ環境のネットワークを統合およびアプリケーション共有のためのSIPをベースにしたプラットフォーム(製品群)です。革新的なユニファイド・コミュニケーションおよびコンタクトセンター・ソリューションを実現するコア・コミュニケーション・サービスを提供することで、生産性および顧客満足度を高め、ビジネスの効率化をもたらします。

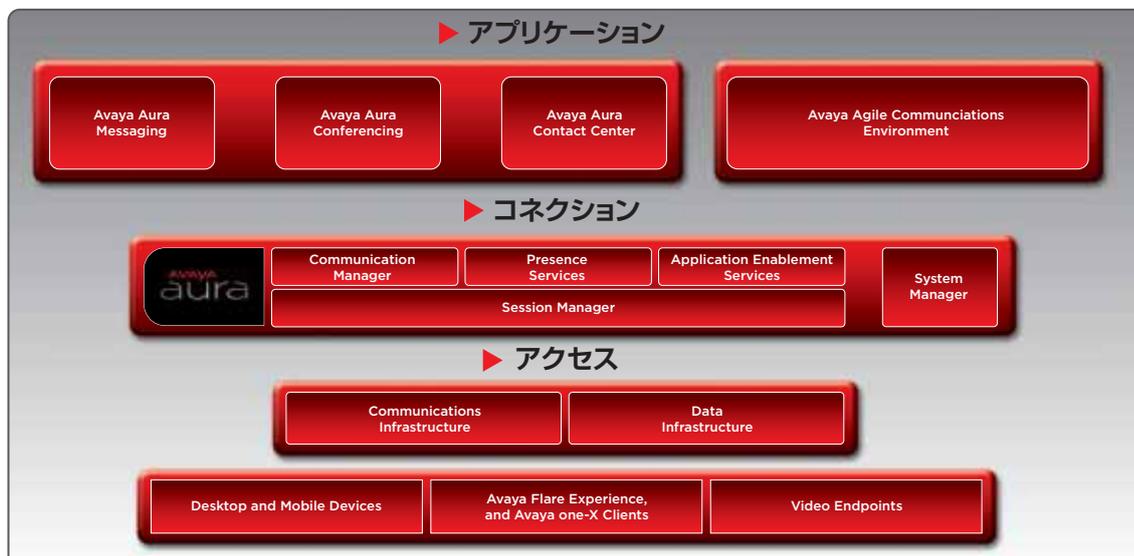
## Avaya Aura®アーキテクチャ

Avaya Aura®は、SIPをベースにしたアーキテクチャを採用しています。Avaya Aura®CoreにあるSession Managerですべてのセッション情報、ルーティングを管理することで、レイヤー(アプリケーション、コネクション、アクセス)毎にオープンで独立した構成を組むことが可能です。



## Avaya Aura®の特徴

- **既存システムとの統合**  
H.323 など既存システムで利用していた環境を保全し、SIP 環境に接続することが可能です。
- **SIP環境におけるサバイバビリティの確保**  
ネットワーク障害の際にも継続してサービスを提供することが可能です。
- **ビデオシステム連携**  
最新のHDビデオシステムを既存H.323ビデオシステム、テレフォニーシステムとシームレスに連携することが可能です。
- **アプリケーション共有**  
アクセスレイヤーにある各デバイスの共有アプリケーションとして動作することが可能です。拠点毎、PBX 毎にアプリケーションを構築する必要がないため、開発に要する時間・人件費を抑え、導入・運用管理コストを大幅に削減できます。



## >> オールインワン・ミッドサイズ・ソリューション

今までアプリケーション毎に複数台必要だったサーバをXen Hypervisorを機能拡張した仮想化テクノロジーを採用し、1台のサーバ上で稼働可能にしました。専用ハードウェアで動作していたアプリケーションを仮想マシンとして1つのハードウェア上で稼働させることで、アバピアが提供する複数のアプリケーションをパッケージ化して提供します。さらに、仮想マシンプラットフォーム共通のサービスアプリケーションを提供し、容易な導入、管理を実現します。



### ➡ シングルステップ・インストール

Solution Templateをインストールし、ネットワーク設定をすればあとは自動的にインストールを開始します。

### ➡ リモートサービス

Avaya Secure Access Link (SAL) のセキュアで、迅速な保守性およびAvaya Expert Systems™へのアラート機能により、素早いトラブルシューティング、アラート管理、リモートサポートが可能です。

### ➡ 冗長構成

Heartbeat方式によるActive/Standby方式をサポート。

## >> Avaya ユニファイド・コミュニケーション製品

### Avaya Aura® Communication Manager

アバピアのフラッグシップIPテレフォニー・ソフトウェア

### Avaya Aura® Session Manager

Communication Managerの規模や管理対象を大幅に拡張する一方で、新しいユーザ機能を実現する画期的かつ新たなSIP基盤

### Avaya Aura® System Manager

Avaya Aura®の新たな共通管理のフレームワークであり、管理上の複雑性を緩和するプロビジョニングや統括のための一元管理機能を提供

### Avaya Aura® Messaging

保存されたボイスメールを様々なアバピアの製品と連携し確認可能。また受信したFAXをメールにて閲覧する機能を提供

### Avaya Aura® Application Enablement Services

Communication Managerソリューションをカスタマイズし統合するためのテレフォニーAPI群

### Avaya Aura® Presence Services

アバピアや第三者ソースから充実したプレゼンスを収集し、他製品と連携させる、アバピアのプレゼンス・サービス

### Avaya Aura® Conferencing

シングルサーバ構成も可能な、音声、ビデオ、Web会議を実現するカンファレンスソリューション

### Avaya Agile Communication Environment

ビジネスアプリケーションとリアルタイムコミュニケーション機能を統合するSOAアーキテクチャとWebサービスをベースにしたソリューションプラットフォーム

# Avaya Aura<sup>®</sup> Communication Manager

## 先進のテレフォニー機能を実現

Avaya Aura<sup>®</sup> Communication Managerは、Avaya Aura<sup>®</sup>のキーコンポーネントとして、音声、ビデオなどのメディアの管理を約850の豊富な機能で提供します。また基本的なコールセンター機能（ACD、簡易IVR機能、時間別、日別、曜日別ルーティングなど）も追加システムなしにご利用頂けます。

### 複数の着信手段

PBXダイヤルイン、グループ着信、ダイレクトインダイヤル(DID)、ダイレクトインライン(DIL)など

### 高度なテレフォニー機能

#### ■ ハンズフリー機能

高性能なマイクフォンを内蔵しているため、受話器を置いたままでダイヤル及び通話ができます。

#### ■ チームボタン

コールピックアップ、ワンタッチ呼び出し、話中表示を1つのボタンに集約することができます。これにより電話をかけた相手は、相手の不在理由(休暇、外出中、昼食中、10分以内に戻るなど)をもとに最適なコミュニケーション手段(ボイスメール、電話、電子メール)を次に選択することが可能になります。

#### ■ 不在理由通知機能

ユーザが席を外す前に特番またはボタン操作で不在理由を設定することができます。これにより電話をかけた相手は、相手の不在理由(休暇、外出中、昼食中、10分以内に戻るなど)をもとに最適なコミュニケーション手段(ボイスメール、電話、電子メール)を次に選択することが可能になります。

#### ■ グループページング

内蔵されているスピーカーによって、ページングが特定のワークグループまたはエリアにおいて使用できます。

#### ■ ミート・ミー会議通話

事前に決められた電話番号にアクセスするだけで、最大6者間の会議通話を行うことができます。パスワードを設定しセキュリティを高めることが可能で、移動費の削減効果を期待できます。

#### ■ 通話録音機能

通話録音機能は、通話内容を録音し蓄積する機能です。通話中に用件を書き残さずに、ボタンひとつで通話を録音します。お客様との通話内容を残しておくことで、正確に用件を記録することが可能になります。

\*別途、メッセージングシステムが必要です

#### ■ コール・カバレッジ機能

6ポイント先まで自動転送が設定できます。モバイルや自宅等の外線にも転送でき、また他の内線やボイスメールにも転送可能。さらに時間帯によって転送設定を変更することも可能です。

#### ■ 電話帳機能

電話機から集中化された電話帳ディレクトリを検索できます(LDAPにも対応)。

### 通信事業者のFMCサービス対応

FMC(Fixed Mobile Convergence)サービスとは、あらかじめ登録した携帯電話番号を既存PBXの内線番号に割り当てて国内通話を定額料金で提供する法人向けサービスです。Communication Managerは、以下の通信事業者のFMCサービスに対応しています。

- 株式会社ウィルコム「W-VPN」
- 株式会社NTTドコモ「オフィスリンク」
- KDDI株式会社「KDDIビジネスコールダイレクト」
- ソフトバンクテレコム株式会社「ホワイトオフィス」

### その他主要機能

Send All Calls、Priority Queuing、Backup Alerting、Timed Reminders、Attendant Vectoring、Abbreviated Dialing、Last Number Dialed、Internal Automatic Answer、Integrated Directory、Universal Access — Phone Status、Intelligent Call Routing、Group Paging、Remote Call Coverage/ Forward Off-Net、Personal Station Access、Automatic Call Distribution (ACD)、Enterprise Mobility User、SIP Visiting Userなど。

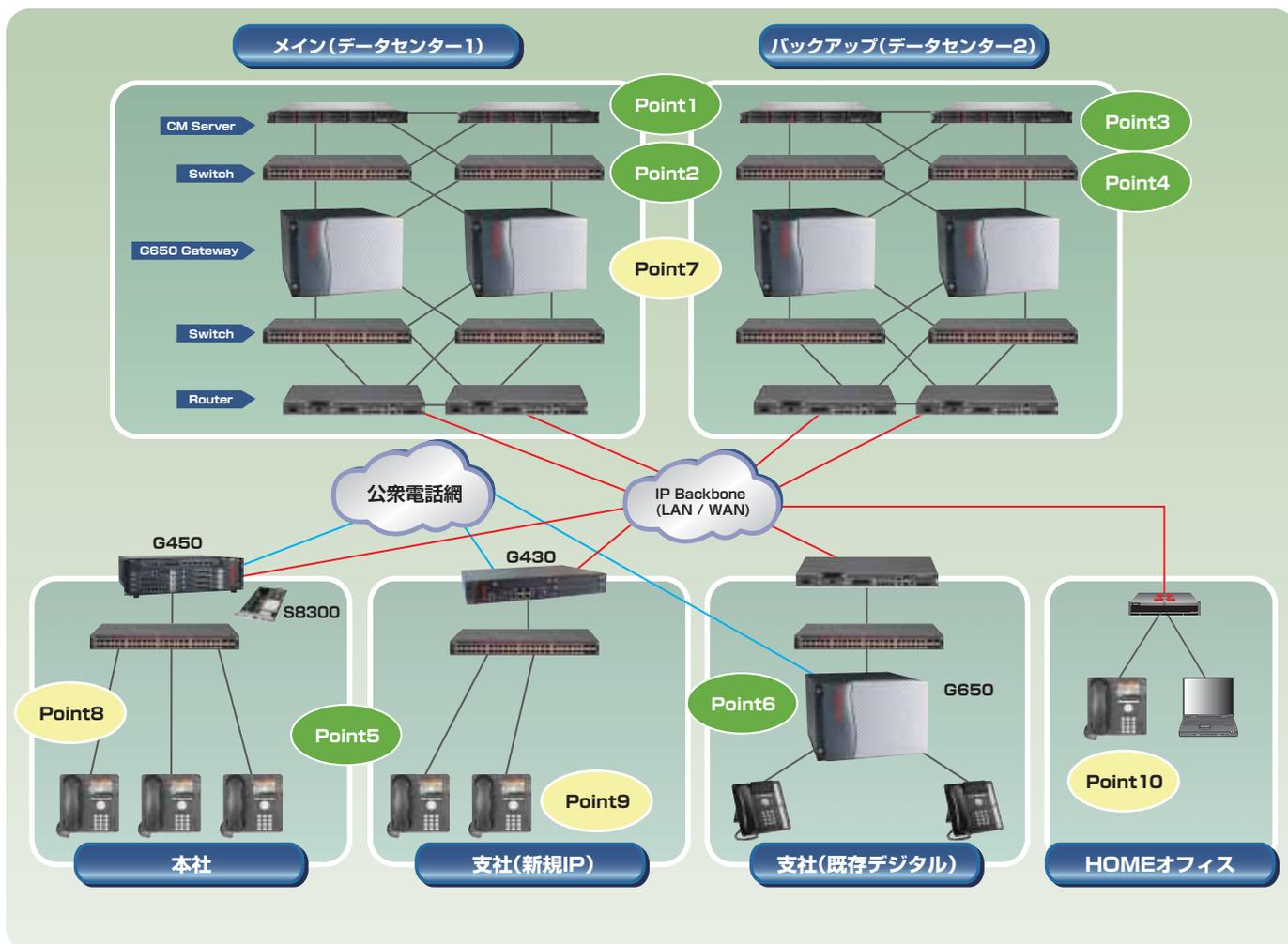
## 音声とデータ統合によるコスト削減

企業ネットワークに音声とデータを統合することによって、回線コストおよび通信コストを削減することが可能です。1つのサーバで全てを制御するので、拠点間通信、公-専接続、専-公接続など自由自在となり、それぞれの企業にあわせたコスト削減効果をもたらします。またLCR機能も装備しているのでユーザは特別なダイヤリングを意識することなく、システムが自動的に通信コストの最も安いルートを選択します。またIP電話機なら既存のIPネットワークを最大限活用し、配線コストを削減することが可能です。移設する際には、配線変更工事費が不要でIP電話機をLANへ再接続するだけで済みます。またログイン機能を装備していますので、フリーレイアウトのオフィスにも対応します。



## 信頼性およびセキュリティ

世界中の企業に採用されている実績ある分散アーキテクチャ。理想的な信頼性、セキュリティを確保することが可能です。



- Point 1. サーバの二重化  
CM Serverは1ペアのサーバがデュプリケーションしながら運転を行っています。一方のサーバがダウンしてもホットスタンバイ方式でバックアップ側のサーバがサービスを継続します。
- Point 2. 制御リンクの完全二重化  
ServerとGatewayの専用LANリンクを完全二重化構成にすることで更なる信頼性を確保することが可能です。
- Point 3. Linux OSの採用  
Communication Managerを搭載しているサーバにはOSとしてLinuxを採用。最小限の保守作業かつ安定したパフォーマンスを実現します。
- Point 4. バックアップサーバ  
ESS(Enterprise Survivable Server)は、WANリンクのダウンまたは災害などでメインのサーバ群が運用不能状態になった際、バックアップサーバとしての機能を提供します。メインのサーバと別のサイトに設置することで、災害対策として利用することができ、冗長化をシステム全体に広げることができます。バックアップサーバは複数設置することができ、コールセンターなどのミッションクリティカルなシーンでも万全な運用・管理が可能となります。
- Point 5. ゲートウェイのサバイバビリティ機能  
G430/G450 Gatewayにはサバイバビリティ機能(LSP : Local Survivability Processor)をオプションで装備。また簡易版サバイバビリティ機能(SLS)を標準で装備。サーバとのリンク断が検知された場合にはバックアッププロセッサが自動的に起動し、その後のテレフォニーサービスを再開します。電話の機能的には通常運用状態と変わらぬテレフォニーサービスをそのままご利用頂けます。最大で、サバイバビリティ機能を装備したメディアゲートウェイを250台まで追加することが可能です。
- Point 6. 投資の保護  
既存のCMシステムで使用している基板を引き続き再利用頂けます。使用可能な財産を最大限に利用するアバピアの設計思想ならではのです。
- Point 7. 一般LANからの隔離  
サーバを一般のLANから隔離することによってセキュリティ性を向上させます。サーバをウィルスやDoS攻撃などの被害から守ります。
- Point 8. 音声/信号パケットの暗号化  
汎用的なプロトコルを使用しているVoIP技術は盗聴などの脅威にさらされています。アバピアのIP電話機はSRTPおよびAESなどをサポートし、音声/信号パケットを暗号化。金融機関など高いセキュリティを求められるフィールドでも安心してご利用頂けます。
- Point 9. 802.1x認証 LLDPサポート  
PCIに加えIP電話機についてもIEEE 802.1xの認証処理をサポートしています。またネットワークの障害解決やマネージメントを簡素化するLLDP(IEEE 802.1AB)にも対応しています。
- Point 10. IP電話機のVPN機能  
IP電話機内部にIPSecクライアント機能を装備。電話機をホームルータに接続し、インターネットVPN接続を行うことによって会社の自内線と同一の機能を手に入れることができます。自宅やバックアップサイトに設置することによってディザスタリカバリーおよびパンデミック対策の手段としても有効です。

# 》 オフィス内の省電力ソリューション

## アバイアのネットワーク製品やIP電話機でオフィス内の消費電力を削減

### ■ オフピークの時間は消費電力を削減: Avaya Ethernet Routing SwitchのEnergy Saver機能

AvayaのIP電話機はAvaya Energy Saverに対応しています。

Avaya Energy Saverソリューションはデバイスの使用やオフィスの利用時間に合わせて電力消費量を調整します。営業時間外に使う必要のないIP電話や無線LANアクセスポイントなどのデバイスへのPoEポートからの電力供給を自動的に止めたり、100Mのイーサネットポートの帯域を絞ったりすることで、夜間・早朝などオフピーク時間の消費電力を抑えることができます。ポートごとの設定も可能なため、重要なIP電話機などのデバイスには24時間電源を供給することができます。時間ごと、曜日ごとのスケジューリングが可能で、オフィスの稼働時間に合わせて柔軟な設定を行うことができます。一般的な企業の電力消費のパターンでは、オフピーク時間の電力消費を削るだけで30%から40%近くもの大きな省電力化の余地があります。

また、Avaya Energy Saverはハードウェアの交換なしに、既存のERS 4500シリーズおよびERS 5000シリーズの最新OSで提供されています。個々のスイッチで直接管理することもできますが、Avaya Unified Communication ManagementのコンポーネントであるEnterprise Policy Managerを使って一元管理することもできます。電力効率のよい設計のERSシリーズにこの機能を組み合わせることで、トータルな省電力ソリューションが実現されます。

### Avaya Energy Saver設定例



### ■ Avaya one-X® Deskphone 9600シリーズで省エネ対策を

IP電話機がIPネットワークで最もエネルギーを消費し、エネルギー消費量の最大80%を占めていることはご存知でしょうか。Avaya one-X® Deskphone 9600シリーズをお選びいただければ、省エネ、CO<sub>2</sub>排出量の削減が可能となり、コストの削減につながります。アバイアのテスト結果や、Tollyのコンサルタントにより、Avaya one-X® Deskphone 9600シリーズ電話機のエネルギー消費量は他社メーカー製品よりも40~60%少ないことが証明されています。アバイアでは、Energy Star®基準を自主的に採用し、9600シリーズの全モデルに省エネルギー機能を組み込んでいます。



VoIPネットワークのエネルギー消費



Avaya one-X® Deskphone 9608



Avaya one-X® Deskphone 9621G

# Avaya End Devices

## IP電話機

### 9600シリーズ



9601

9608, 9620L/C

9611G, 9621G,  
9630G, 9640G,  
9650G, 9670G

9641G, 9650C

#### ▶ 共用エリア用

顧客やサプライヤーなど  
の訪問者に最適です。

#### ▶ 一般ユーザー用

IM, Eメール, PDAなど、さ  
まざまなコミュニケーションツールのひとつと  
して電話を利用するユー  
ザーにおすすめです。

#### ▶ パワーユーザー用

リアルタイムの音声コミュ  
ニケーションを多用し、高  
度な電話アプリケーション  
を活用しているパワーユー  
ザー用電話機として最適で  
す。

#### ▶ ナビゲーター用

長時間にわたって電話の対応をする受付係、役  
員秘書の方など、電話の取り次ぎがおもな業務  
となるような方におすすめです。

9600シリーズは  
フェイスプレートの色の選択が可能



企業のカラーや用途に合わせて  
カスタマイズも可能です。



### 1600シリーズ



1603(SW)-i

1608-i

1616-i

### カンファレンスフォン



B149 / B159 / B179

## デジタル多機能電話機

### 9400シリーズ



9404

9408

### 1400シリーズ



1408

1416

### 2400シリーズ



2402D

2410D

2420D

## コラボレーションソリューション



1010 / 1020

\*ディスプレイは未提供



1030 / 1040 / 1050

\*ディスプレイは未提供



Avaya Desktop Video Device

# >> サーバ/ゲートウェイ仕様

Avaya Aura® Communication Managerにより制御されるAvaya Server / Avaya Gatewayは、ServerとGatewayを組み合わせることで、幅広いお客様のネットワーク要件を満たす柔軟性、拡張性を兼ね備えています。継続的な呼制御およびメディア処理を高速に行いながら、コールプロセッシングの一元管理を行います。



サーバ仕様	メディアゲートウェイ搭載型	シンプル構成	デュプレックス構成
サポートするメディアゲートウェイ	・ G450 ・ G430	・ G650 ・ G450 ・ G430	・ G650 ・ G450 ・ G430
オペレーティングシステム	Linux	Linux	Linux
プロセッサ	Intel Core Duo / 1.06 GHz	Intel Xeon E5520 Quad Core / 2.26GHz	Intel Xeon E5520 Quad Core / 2.26GHz × 2
ステーション数	・ 最大1,000端末 ・ IP、デジタル、アナログ	・ 最大18,000IP電話機 ・ 最大36,000端末	・ 最大18,000IP電話機 ・ 最大36,000端末
トランク数	最大4,000	最大12,000	最大12,000
Busy Hour Call Completions(BHCC)	最大10,000	最大600,000	最大600,000
ネットワーク	50メディアゲートウェイ	250メディアゲートウェイ (G650, G450, G430)	250メディアゲートウェイ (G650, G450, G430)
サーバ二重化	なし	なし	ホットスタンバイ
バックアップサーバ	LSP	ESS / LSP	ESS
本体サイズ(H × W × D)	mm — (Media Module 1 枚分)	43 (1U) × 440 × 711	86 (1U × 2) × 440 × 711
本体重量	—	15.60kg(最大)	15.60kg × 2(最大)
最大消費電力	—	675W	675W × 2
使用環境(温度/湿度)	—	0 - 40°C / 8 - 80% (結露しないこと)	0 - 40°C / 8 - 80% (結露しないこと)



メディアゲートウェイ仕様			
コール・コントローラ	・ 外部 ・ S8300 Server(内蔵)	・ 外部 ・ S8300 Server(内蔵)	外部
拡張	・ 3メディアモジュールスロット ・ 2拡張モジュール	8メディアモジュールスロット	14ユニバーサル・TNスロット
スケラビリティ	内蔵サーバ150内線まで	内蔵サーバ450内線まで	1ポートネットワークあたり5台まで
サポートする電話機	・ アナログ電話機 ・ 1400/2400/9400 シリーズ デジタル電話機 ・ 1600/9600 シリーズ IP電話機	・ アナログ電話機 ・ 1400/2400/9400 シリーズ デジタル電話機 ・ 1600/9600 シリーズ IP電話機	・ アナログ電話機 ・ 1400/2400/9400 シリーズ デジタル電話機 ・ 1600/9600 シリーズ IP電話機
サポートするトランク	・ アナログ ・ INS64, INS1500 ・ T1/E1 ・ IP(H.323, SIP)	・ アナログ ・ INS64, INS1500 ・ T1/E1 ・ IP(H.323, SIP)	・ アナログ ・ INS64, INS1500 ・ T1/E1/TTC2M/4W E&M ・ IP(H.323, SIP)
信頼性	SLS	SLS, 電源二重化	電源二重化
本体サイズ(H × W × D)	mm 66.5 (1.5U) × 482.6 × 325	133.3 (3U) × 482.6 × 460	360 (8U) × 480 × 560
本体重量	5kg	7.5kg	16 - 18kg
最大消費電力	220W	500W	667W
使用環境(温度/湿度)	0 - 40°C / 10 - 90% (結露しないこと)	0 - 40°C / 10 - 90% (結露しないこと)	5 - 40°C / 10 - 90% (結露しないこと)

## ● 主な仕様

### Avaya one-X® Deskphone 9600 IP Telephoneシリーズ仕様

機能	9601	9608	9611G	9621G	9641G	9620L	9620C	9630G	9640(G)	9650	9650C	9670G
コールアピアランス / 機能ボタン	5	24	24	24	24	12	12	24	24	24	24	24
ディスプレイとボタン / LED	バックライト付 モノクロ、 2xLED付ボタン	バックライト付 モノクロ、 8xLED付ボタン	バックライト付カラー、 8xLED付ボタン	バックライト付カラー、 パネル、ラインボタン、 LEDなし	バックライト付カラー、 パネル、ラインボタン、 LEDなし	バックライト付カラー、 パネル、ラインボタン、 3xLED	バックライト付カラー、 ボタン、3xLED	バックライト付カラー、 パネル、ラインボタン、 3xLED付ボタン	バックライト付カラー、 パネル、ラインボタン、 3xLED付ボタン	バックライト付カラー、 パネル、ラインボタン、 3xLED付ボタン	バックライト付カラー、 パネル、ラインボタン、 3xLED付ボタン	バックライト付カラー、 パネル、ラインボタン、 LEDなし
ソフトキー	3	4	4	0-5	0-5	4	4	4	4	4	4	なし
タッチスクリーン	N	N	N	Y	Y	N	N	N	N	N	N	Y
固定キー	Volume, Speaker, Headset, Mute, Phone, CallLog, Contacts, AvayaMenu, Message											
				Forwarding	Forwarding			Forwarding	Forwarding	拡張シフト	拡張シフト	Forwarding
表示可能文字	英数字、カタカナ、ひらがな、漢字											
ヘッドセットサポート	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
USBサポート	N	N	Y	N	Y	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y
ボタンモジュールサポート	N	Y	Y	N	Y	N	N	Y	Y	Y	Y	Y
Gigabitサポート (標準: Y, 追加可能: A, 不可: N)	N	N	Y	Y	Y	A	A	Y	9640:A 9640G:Y	A	A	Y
Bluetooth (標準: Y, 追加可能: A, 不可: N)	N	N	N	N	Y	N	A	A	A	A	A	Y
対応プロトコル	SIP	H.323, SIP	H.323, SIP	H.323, SIP	H.323, SIP	H.323, SIP	H.323, SIP	H.323, SIP	H.323, SIP	H.323, SIP	H.323, SIP	H.323
PoE Class* (IEEE 802.3af)	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2
ディスプレイサイズ(ピクセル)	132x39	181x120	320x240	480x272	480x272	320x160	320x160	320x240	320x240	320x240	320x240	640x480
本体サイズ(H x W x D)	mm	165 x 180 x 230	165 x 204 x 230	165 x 204 x 230	107 x 232 x 230	107 x 232 x 230	106 x 187 x 231	106 x 187 x 231	106 x 228 x 231	106 x 228 x 231	106 x 228 x 231	106 x 273 x 231
重量	1.08kg	1.32kg	1.32kg	1.45kg	1.45kg	1.0kg	1.0kg	1.2kg	1.2kg	1.2kg	1.2kg	1.5kg
使用環境(温度 / 湿度)	4 - 49°C / 5 - 95% (結露しないこと)											
<small>その他標準機能: スピーカーフォン、可動フリップスタンド、壁掛け使用、ディスプレイ角度調節、IPsecVPNサポート(H.323)、IPv4 and ICMP、DHCP supported、HTTP / HTTPS(using TLS)、TCP / UDP / RTP / RTCP / SRTP / RSVP / LLDP(inc VLAN assignment)、ARP / DNS、802.1Q(Layer 2 QoS)、VLAN Separation、DiffServ(Layer 3 QoS)、Port Range(Layer 4 QoS)、Signaling Channel Encryption、802.1X(MD-5)、Audio Encryption、Codecs : G.722、G.711 a-and mu-law、G.729A / B、G.726A、Dynamic jitter buffer、omni-directional microphone、Echo Cancellation、Comfort noise generation、Automatic Gain Control(AGC)for Handset and Speaker、AGC for Headset、Secondary line alerting、Unnamed registration、Emergency button one touch access、Web Browser support、Push Audio capabilities、Multicast Push Audio capabilities、Push Text to top line capabilities、Push Display using Web Push、Backup file for user data、対応言語(日本語、Arabic、Brazilian、Portuguese、Simplified Chinese、Dutch、English、Canadian French、Parisian French、German、Hebrew、Italian、Korean、Latin American Spanish、Castilian Spanish、Russian)</small> <small>* 本体のみの値(ボタンモジュールを追加した場合はクラスが異なる場合があります)</small>												

### Avaya one-X® Deskphone Value Edition 1600 IP Telephoneシリーズ仕様

機能	1603-i	1603SW-i	1608-i	1616-i
コールアピアランス / 機能ボタン	3	3	8	16
ディスプレイ	ホワイトバックライトLCD			
ソフトキー	0	0	3	3
固定キー	Hold, Mute, Conference, Drop, Transfer, Speaker, Volume, Menu		1603のボタンに加え、Contacts, Call Log, Phone/Exit, Headset, Message	
表示可能文字	英数字、カタカナ			
ヘッドセットサポート	N	N	Y	Y
USBサポート	N	N	N	N
ボタンモジュールサポート	N	N	N	Y
Gigabitサポート (標準: Y, 追加可能: A, 不可: N)	N	A*1	A*1	A
PoE Class*2 (IEEE 802.3af)	(別途adapter要)		2	2
ディスプレイサイズ(行数 x 文字数)	2 x 16	2 x 16	3 x 24	4 x 24
本体サイズ(H x W x D)	mm	116 x 160 x 220	116 x 192 x 217	116 x 228 x 217
重量	771g	771g	861g	952kg
使用環境(温度 / 湿度)	4 - 49°C / 5 - 95% (結露しないこと)			
<small>その他標準機能: スピーカーフォン、壁掛け使用、コールコントロールプロトコル(H.323)サポート、IPv4、DHCP supported、TCP / UDP / RTP / RTCP、ARP / ICMP / DNS、802.1Q(Layer 2 QoS)、DiffServ(Layer 3 QoS)、Port Range(Layer 4 QoS)、Signaling Channel Encryption、802.1X(MD-5)、Audio Encryption、Codecs : G.711 a-and mu-law、G.729A / B、G.726A、Dynamic jitter buffer、Omni-directional microphone、Echo Cancellation、Comfort noise generation、Automatic Gain Control(AGC)for Handset and Speaker、Backup file for user data、対応言語(English and any 4 of : Canadian or Parisian French、Latin American or Castilian Spanish、German、Italian、Dutch、Brazilian Portuguese、Russian、日本語(カタカナ)、Traditional Chinese、Simplified Chinese、Korean、Hebrew and Arabic</small> <small>1608-i / 1616-iのみ標準: VLAN Separation、AGC for Headset、Secondary line alerting(1603の場合はTone)、User options for Call Timers、Radial、Auto Path、Call Log、Push Audio capabilities、Push Text to top line capabilities</small> <small>1603SW-iのみ標準: コールコントロールプロトコル(H.323、SIP)サポート</small> <small>*1 大容量ファイル転送が必要な高負荷アプリケーション使用には、1616-利用を強くお勧め致します。</small> <small>*2 本体のみの値(ボタンモジュールを追加した場合はクラスが異なる場合があります)</small>				

### アバイアコラボレーションソリューション仕様

機能	Avaya 1010	Avaya 1020	Avaya 1030	Avaya 1040	Avaya 1050	Avaya Desktop Video Device
用途	デスクトップ	オフィス / 小会議室	中大会議室	中大会議室	中大会議室	ポータブル
MCU(多地点接続装置)	-	-	-	最大4拠点	最大8拠点	-
HDディスプレイ数	1	1	2	2	2	1
ディスプレイ	20-26" (推奨)	32-42" (推奨)	50-65" (推奨)	50-65" (推奨)	50-65" (推奨)	1366 x 768
ビデオ品質	720p@30fps	720p@30fps	1080p30 720p60 720p30	1080p30 720p60 720p30	1080p30 720p60 720p30	720p@30fps
768kbps(30fps)時解像度	1024 x 576	1024 x 576	1280 x 720	1280 x 720	1280 x 720	-
HDカメラ	固定型カメラ	高性能パン / チルト / ズームカメラ	高性能パン / チルト / ズームカメラ	高性能パン / チルト / ズームカメラ	高性能パン / チルト / ズームカメラ	オートフォーカス
音声	カメラにマイク内蔵	Micpod x 1、HDTVスピーカー*	Micpod x 1、HDTVスピーカー*	Micpod x 1、HDTVスピーカー*	Options: Micpods、マイク付スピーカーフォン、HDTVスピーカー*	内蔵Harman Kardonスピーカー、内蔵デュアルマイク
	HDTVスピーカー*	Micpod x 1、HDTVスピーカー*	Options: 差込Micpods、マイク付スピーカーフォン	Options: 差込Micpods、マイク付スピーカーフォン		
必須領域	1080p @ 30fps	n / a	1.7Mbps	1.7Mbps	1.7Mbps	n/a
	720p @ 60fps	n / a	1.1Mbps	1.1Mbps	1.1Mbps	n/a
	720P @ 30fps	1.0Mbps	1.0Mbps	768Kbps	768Kbps	768Kbps

\*HDTVスピーカーは未提供

### About Avaya

アバイア・インク(本社所在地:米国ニュージャージー州バスキングリッジ)は企業向けコミュニケーションおよびコラボレーションのグローバル・リーダーです。アバイアは、ユニファイドコミュニケーション・ソリューション、コンタクトセンター向けソリューション、データ・ソリューションおよび関連サービスを世界中のあらゆる企業に提供します。

詳細は、アバイアのWebサイト<http://www.avaya.com> をご覧ください。

日本アバイアについては、<http://www.avaya.com/jp>をご覧ください。

Avaya is a global leader in business communications and collaboration, providing unified communications, contact centers, data solutions and related services to companies of all sizes around the world. For more information please visit [www.avaya.com](http://www.avaya.com).

# AVAYA

The Power of We™

※ AvayaおよびアバイアのロゴはAvaya Inc.の商標です。その他すべての商標は個々の商標権者に帰属します。

# AVAYA

## 日本アバイア株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-7 赤坂溜池タワー  
電話：(03)5575-8700 ファックス:(03)5575-8701  
URL： <http://www.avaya.com/jp>

お客様フリーダイヤル **0120-223-911**

### ■お問い合わせ先



## 三機テクノサポート株式会社

### ITサービス本部

〒104-6591 東京都中央区明石町8-1  
電話：(03)6367-7700 ファックス：(03)5565-5303  
URL： <http://www.sanki.co.jp/sts/>

IA11/11-01-3000